

報道関係者各位 | 2026 年 10 月 23 日

(取材のお願い)

秋空の下、公園がこどもたちの図書館に！

本との出会い、地域の体験、中高生の挑戦を楽しむ

あおぞら図書館 ハロウィンフェスティバル

2026 年 10 月 31 日（土）13:00～17:00 | 六湛寺南公園（西宮市）

NPO 法人こどもサポートステーション・たねとしずくは、10 月 31 日（土）、六湛寺南公園で「ハロウィンフェスティバル～秋のあおぞら図書館」を開催します。9 月 25 日にプレスリリースさせていただきましたが、イベントが近づいてまいりましたので、取材のお願いで再度、ご案内させていただきます。市役所のすぐ近く、六湛寺南公園に本を持ち出し、芝生の上で読書を楽しめるほか、地域団体によるワークショップや出店、中高生のステージ発表などを予定しています。何かを体験しても、ただのんびり過ごしてもいい。こども達に存分に楽しんで欲しいです。



昨年のあおぞら図書館の様子

■ 1,500 冊以上の本を持つ、小さな街の「こども専用図書館」

2023 年 8 月、こどもの孤立を防ぎたいという思いから生まれた「たねとしずくライブラリー」。平日週 2 日開館し、乳幼児から中高生までが楽しめる 1,500 冊以上の本を所蔵しています。こどもなら誰でも無料で利用できます。特徴は、市民の「一箱本箱サポーター」が、こども達に読んでほしい本を選び、自分の本棚に並べていること。多様な人の思いが、さまざまな本となって集まっています。

■ ライブラリーを飛び出し、芝生の上で本を読む

当日は絵本から読み応えのある小説まで約 350 冊が公園に登場します。親子で読んでも、一人で物語に浸っても自由。ふと手を伸ばした先に心に響く一冊が見つかる。そんな出会いを届けたいと考えています。

■ 地域とつくる、自由に楽しい時間

地域の市民団体や事業者など8店舗が出店し、ゲーム、ものづくり、飲食などの体験を届けます。中高生を中心とした音楽・朗読・ダンスのステージでは、初めて人前で発表することも。上手にできることだけでなく、「やってみたい」という挑戦そのものを地域で応援します。

本を通じて、市民の思いがこどもたちへ

■ 「どうぞの本」——こどもなら誰でも、好きな本を1冊プレゼント

市民から寄せられた新品・中古の本を、一冊ずつラッピング。会場では150人分を用意し、こどもたちに好きな本を1冊選んで持ち帰ってもらいます。包みを開くわくわく感と、自分だけの本を持つ喜びを届けます。



手書きのメッセージが添えられた「どうぞの本」

■ 当日の本の寄付も歓迎します

落書きや破れの無い、状態のよい本を会場へお持ちください。ボランティアがその場でラッピングし、こどもたちへのプレゼントとして活用します。

■ スタンプラリーでお菓子をプレゼント

こどもたちは店舗を巡ってスタンプを集め、ゴールの「たねとしくライブラリー」でお菓子を受け取れます（先着300名予定）。ライブラリー内で休憩することもできます。

■ 本が、友達のようにそばにいてくれる存在に

本を読むことを強制するのではなく、こどもの身近な場所に本があること。知らなかった世界を見せ、時には気持ちにそっと寄り添う本との出会いを、地域のみなさまとつくりたいと思っています。

【開催概要】

日時：2026年10月31日（土）13:00～17:00 ／ 会場：六湛寺南公園（阪神西宮駅周辺）

内容：あおぞら図書館、どうぞの本、地域団体の出店・ワークショップ、中高生ステージ、スタンプラリー

出店団体：西宮市社会福祉協議会・ソーシャルスクエア・お茶の間ぷちだがしやさん・リペアカフェ西宮・たねとしず

主催：NPO 法人こどもサポートステーション・たねとしずく

【取材・お問い合わせ】

NPO 法人こどもサポートステーション・たねとしずく 担当：大和陽子

公式サイト：<https://tanetosizuku.com/> ／ 電話：070-3998-0380 ／ メール：office@tanetosizuku.com